

第 251 回東海大学長距離競技会における計時トラブルの経緯とご報告ならびにお詫び

2026 年 10 月 5 日
東海大学陸上競技部
駅伝監督 西出仁明

拝啓 秋冷の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素より東海大学長距離競技会の運営ならびに本学陸上競技部の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026 年 10 月 4 日に開催しました「第 251 回東海大学長距離競技会」におきまして、電気計時システム（写真判定システム）の予期せぬ不具合が発生し、急遽「手動計時」による競技会運営および記録公認へと変更せざるを得ない事態が発生いたしました。

自己記録の更新や公認記録の取得に向けて日々厳しいトレーニングを積み、万全の準備をして本競技会に臨まれた競技者の皆様、ならびにご指導・ご引率の顧問・コーチ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご失望をおかけしましたことを、主催者として深くお詫び申し上げます。

1. 事案の要旨

本競技会開始前（14 時 00 分頃）の事前機器セッティングおよびテストの段階においてシステムダウンが発生いたしました。直ちに復旧作業を試みましたが、大会運営スケジュールの遅延防止および施設閉館時間を考慮し、競技規則に基づきバックアップとして配置していた競技役員による「手動計時」への切り替えを決定・実施いたしました。

2. 発生の経緯および当時の対応

1) 事前準備段階における不具合の確認

競技開始に向けた事前の機材設置および動作テスト・点検作業を行った際、写真判定・電気計時システムが正常に作動しない事象を確認いたしました。

2) 復旧作業の実施と結果

現場の機器担当者および役員において原因究明にあたり、機器の接続確認を行うとともに、制御パソコンの再起動を複数回実施して復旧を試みましたが、システムは復旧せず、正常に作動しない状態が継続いたしました。

3) 競技進行および計時方法の判断

システムの復旧作業をこれ以上継続した場合、全体のタイムテーブルが大幅に遅延し、選手のウォーミングアップやコンディション調整に重大な支障をきたすだけでなく、当日の会場借用時間および公園の閉館時間を超過し、最終種目・組の実施自体が困難となる恐れがございました。そのため、審判長および大会総務で緊急協議を行なった結果、全レースを安全かつ確実に実施す

ることを最優先とし、配置していた計時員による「手動計時」へと切り替えて競技を進行する決定を下しました。

3. 計時切り替えに伴う取り扱い

手動計時への変更に伴い、本競技会における公認記録は日本陸連規則に基づき「1/10 秒単位（手動計時記録）」としての取り扱いとなります。上位大会の参加標準記録や各種選考において、電気計時（1/100 秒単位）の記録を必要とされていた競技者の皆様には、大変なご不便と不利益をおよぼす結果となってしまいましたことを、主催者・運営一同、重ねて重く受け止めております。

4. 原因と今後の再発防止策

本学では今回の事態を極めて厳粛に受け止め、今後同様のトラブルによって選手の努力が無駄になることのないよう、以下の対策を講じてまいります。

1) 機材の事前点検体制およびストレステストの強化

当日朝の準備時のみならず、前日段階での通電・連動テストを徹底し、機器や接続環境の経年劣化・動作不安定の兆候を早期に検知・対処する体制を整えます。

2) バックアップ機材および代替システムの冗長化

PC 本体や基幹通信機器に不具合が生じた場合でも即座に対応できるよう、予備 PC および独立した予備計測ラインの事前配備を徹底いたします。

3) 非常時オペレーションと情報伝達の迅速化

機材トラブル発生時の切り分け手順や、選手・引率者へのアナウンス・説明手順をマニュアル化し、混乱を防ぐ情報伝達体制を整備いたします。

改めまして、ご参加いただきました選手の皆様、関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後は選手の皆様が安心して全力を発揮できる競技環境の整備に、部員・スタッフ一丸となって努めてまいります。何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問い合わせ先】

東海大学陸上競技部 競技会事務局

担当：駅伝監督 西出仁明

メールアドレス：tokai.distance.challenge@gmail.com